

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立福島区民センター
施設所管課・担当	福島区役所市民協働課（市民協働）担当：山岡・岡村
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的として設置された施設。
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館運営業務 ・施設総合管理業務（各種設備機器点検等） ・コミュニティ育成事業の企画実施業務（自主事業等）
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	利用率/75% 利用者満足度/80%
指定管理者名	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	75%以上	80%以上
年度実績	65.2%	95.1%
達成率	86.9%	118.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	97,269	90,548	6,721
稼働率	65.2%	63.3%	1.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	20,335,861	18,946,501	3,815,568	電気及びガス等エネルギーコストの高騰および休館による補填
	計画	16,520,293	16,526,875		
利用料金収入	実績	13,343,480	13,093,680	-2,791,520	本市発注の音響設備改修工事でホールを1か月半閉館していたことによる減
	計画	16,135,000	16,020,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	3,764,840	4,017,400	-3,170,160	自主事業見直しに伴う自主事業収入の減
	計画	6,935,000	6,586,600		
合計	実績	37,444,181	36,057,581	-2,146,112	
	計画	39,590,293	39,133,475		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	19,484,114	20,131,583	0	
	計画	19,484,114	19,272,783		
物件費	実績	16,479,784	15,199,004	2,456,055	電気及びガス等エネルギーコストの高騰による光熱費等の増加・物価等高騰による増
	計画	14,023,729	13,855,352		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	2,356,749	2,579,079	-3,725,701	自主事業の講座を精査したことによる減
	計画	6,082,450	6,005,340		
合計	実績	38,320,647	37,909,666	-1,269,646	
	計画	39,590,293	39,133,475		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率（75%以上）	86.9%	C	SNS（X）の開設や直前割の導入等、利用促進策を講じており、成果は長期的にみる必要がある。
利用者満足度（80%以上）	118.8%	A	

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
光熱水費の経費を削減	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市の取り組みである熱中症対策「涼ん処」としてのスペースへの提供協力いただいた。 ・蛍光灯の間引きやこまめな消灯、経年劣化による蛍光灯のLEDへの更新により、電気使用量低減を進めている。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・備品等の維持管理について、利用者からの意見を反映し、備品・設備修繕（ホール階段手摺設置・畳の張替え等）を行っている。 ・平等利用の確保について、減免団体への対応、一般利用者へはウェブ申込やコンビニ決済が浸透するようホームページや窓口で誘導した。 ・職員の配置について、ローテーションを組み適切に配置している。 ・職員の育成について、人権研修をはじめとした各種研修を行い、意識向上を図った。 ・安全管理、危機管理について、日常点検を適切に実施し、AED講習会や自衛消防避難訓練を行っている。
事業計画の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査での満足度の把握や、受付窓口横に会館独自の「意見箱」を設置し、常時意見を聞く体制を整えている。 ・利用団体が情報発信できる手段として、「コミ協だより」や「利用者PRコーナー」を設置し、コミュニティづくりについて関心を高めてもらうよう情報発信の仕組みを構築している。 ・ホールの直前割を導入（令和7年1月～）し、区広報板へのPRポスターを掲出するなど、利用促進を行っている。 ・SNS（X）を開設し講座の情報発信を行い、施設の認知度向上を図った。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室が満室時には和室のレイアウト変更を行い、会議室として利用いただくことで、空き部屋が有効に利用された。 ・ブランドピアノを保有しているため、個人練習用としてピアノを時間貸しするサービスや、ピアノイベント用に必要附属設備を「ベーシックセット」として周知した。また、ピアノコンサートを自主事業で開催し、時間貸し等のPRを行うことで相乗効果を得ることができた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、各種団体と連携・協働し地域コミュニティ活動の拠点施設として活動するなど、本市の施策と整合していた。 ・令和6年度の障がい者雇用率が年度平均5.01%であり法定雇用率（2.7%）を達成している。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

・【第1回アンケート実施】 期間：令和6年10月実施 回答人数：96名／【第2回アンケート実施】 期間：令和7年2月実施 回答人数：105名

満足度について①予約手続き②スタッフ対応③清掃について④設備・備品について⑤ホームページの分かりやすさについてを調査し、総合満足度は以下のとおりの結果となった。

【第一回】 大変満足35.4％・満足59.4％・不満0％・大変不満0％・未回答5.2％

【第二回】 大変満足30.5％・満足64.8％・不満0％・大変不満0％・未回答4.8％

6 外部専門家意見

- ・自主事業を見直すことは良いが、提供者の自己満足にならぬよう市民のニーズをとらえた自主事業を展開していただきたい。
- ・直前割は独自の取り組みであるのでPRしつつ、新たに開設したSNSについては、施設を使用したユーザーの投稿をリポストする等、効果的な運用を継続的に行い、施設の認知度を向上していただきたい。
- ・利用率についても令和7年度は目標達成できるよう、頑張ってもらいたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・利用者満足度について高い評価を得ている。
市費の縮減	B	・「涼ん処」への協力や、電気使用量低減策を進めている。
管理運営の履行状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は適切に取り組まれている。 ・自主事業をやめるだけでなく、アンケートの分析等で区民ニーズを把握したうえで、新たな自主事業を展開していただきたい。 ・直前割等の独自の取り組みをPRしつつ、SNSの効果的な運用を継続的に行い、施設の認知度向上に繋げていただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	